

## 安心で安全な質の高い医療を目指して

放射線室 技師長 高橋 渉



9月1日に技師長に就任いたしました。

現在放射線室は25名（診療放射線技師24名、事務員1名）で構成しています。その内女性技師は7名で、マンモグラフィー・乳腺エコー・乳房MRIなどを担当し、女性が安心して検査を受けていただける体制をとっています。

当院放射線室は、単純X線検査、CT検査（64列2台）、MRI検査（3テスラ1台、1.5テスラ1台）、核医学検査、血管造影検査（2台）、放射線治療などの各部門に診療放射線技師が分かれており、医師、看護師、事務職員などと協力しながら業務にあたっています。また、最新鋭の放射線機器を多く導入しており、被ばくの最適化にも積極的に努めています。

診療放射線技師は認定資格を積極的に取得するよう努力し、個々の知識や技術の向上を図ると共に、臨床の検査・治療に活かしています。

また、知識・技術だけでなく、患者さんへの接

遇や医療安全についても常に意識しながら、放射線室全員で取り組んでいます。

私事ですがいつも心に置いている事は「謙虚であれ」です。

誰に対してもおどることなく、謙虚な姿勢で相手の立場になって寄り添う事が出来れば、放射線室全体のチームワークに繋がり、それが他部署との連携にも繋がっていくと思っています。

今後も謙虚な姿勢で患者さんの立場に立ち、患者さんに寄り添い、安心で安全な質の高い医療を提供できるよう邁進してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

なにか不明な点や質問・相談がありましたら、いつでも私や放射線室スタッフに声をおかけください。



9月より仲間入りした西尾総悟です。よろしくお願いいたします。

## 第121回愛媛脳神経外科懇話会学術集会を開催しました

7月8日（土）、当院多目的ホールにて愛媛脳神経外科懇話会学術集会を開催いたしました。

一般演題として、当院の脳神経外科 清水俊彦 医長による「両側Limb-shaking TIAの一例」のほか、第一部、第二部に分かれて全7つの演題を県内の様々な病院の先生方にご講演いただきました。沢山の先生方にご参加いただき、活発な質疑あふれた会となりました。

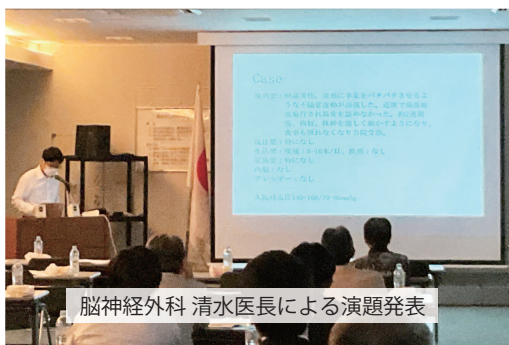
教育講演では、独立行政法人自動車事故対策機構（NASVA）理事長の中村晃一郎先生にご挨拶をいただき、NASVAの役割および今後の展望についてご説明いただきました。また、被害者援護部審議役の矢邊健吾様よりNASVAの3つの柱である、自動車事故被害者を「支える」、自動車事故を「防ぐ」、自動車事故から「守る」という業務の説明のほか、被害者援護業務

および療養施設についてや、今後重度脊椎損傷者の受け入れ環境整備事業を展開していくことなどをお話ししていただきました。

当院は2020年2月より四国初の交通外傷後の意識障害者のためのNASVA専門病床の受託運営をしております。今後も患者さんおよびそのご家族の支えになれるよう、取り組んでまいります。



独立行政法人自動車事故対策機構理事長 中村 晃一郎 様によるご挨拶



脳神経外科 清水医長による演題発表



教育講演座長は 当院理事長の山本が務めました

☆当院脳神経外科 清水俊彦医長は、本年度、日本脳卒中学会認定脳卒中専門医および脳血栓回収療法実施医（日本脳神経外科・脳卒中・脳神経血管内治療の三学会認定）を取得しました。

（文責 総務課 / 松井美里）